

随筆
第二〇回

人口減少と 少子高齢化社会

市長 明智忠直



少子高齢化による人口減少対策は今、地方自治体にとって大きな課題となっております。国の地方創生という大きなテーマの中、自治体ではさまざまな政策、施策に取り組んでいるところでもあります。

旭市としては少子化対策として、子育て支援を重点的に進めているところでもあります。出産祝い金、子ども医療費の高校生などまでの費用助成、第3子の給食費や保育料などの無料化、不妊治療への助成等々。12月議会には小中学校の全教室にエアコンの設置費を盛り込んだ、補正予算を提案したところでもあります。

人口減少対策としては定住促進奨励金の拡大、住宅リフォームの助成、出会いコンシェルジュなど婚活の促進、健康増進のための種々の取り組み、そして今旭市で大きな取り組みであります産業、医療、福祉の連携により、元気な高齢者と子育て世代が定住できる生涯活躍のまちづくり

など、さまざまな角度から推進しているところでもあります。しかし何といても若い人が旭市に魅力を感じ、住んでみたい、住み続けたいと思ってもらえるまちづくりを行うことが、重要だと考えております。魅力ある企業や商業施設の誘致、観光やレジャー、食の郷旭の充実、これらを実践し多方面にわたって発信していかなければなりません。

そんな中ではありますすがうれしい出来事がありました。広報あさひ15日号に掲載している「毎月の人のごき」で、人口が4人増えたことでもあります。出生も53人、転入が転出よりも27人多かったとありました。一時的かもしれませんが人口減少にブレーキがかかったことも事実だと思えます。人口減少が進めば地方交付税の減少、消費経済の落ち込みなど、多くの問題が発生します。市民みんなで旭の良さを再認識し、外へも発信していけたらと思います。

市図書館だより

開館時間／火～金曜日…午前9時～午後6時

土・日曜日…午前9時～午後5時

今月の休館日／20日(木)、23日(日・祝)、25日(火)、29日(土)、30日(日)、毎週月曜日

岡市図書館 ☎62-2560 <http://www.library-asahi-chiba.jp/>

今月のおすすめ

たかまのほら うまやどの み こ かみばなし
「高天原 - 厩戸皇子の神話」

周防柳 著
(集英社)



蘇我馬子から国史編さんを命じられた厩戸皇子は、言い伝えから神話を作り始める。その過程で隠された秘密を知ることになり……。

「ドライブインまほろば」

遠田潤子 著
(祥伝社)



旧道沿いにあるドライブインで、謎の幼いきょうだいに同居を許した店主の比奈子。大切なものを失った彼らに救いは訪れるのか。

新着図書

- 古鏡のひみつ (新井悟)
- 光秀からの遺言 (明智憲三郎)
- 古典歳時記 (吉海直人)
- キリンの一撃 (レオ・グラッセ)
- 大人の汁めしかけめし(市瀬悦子)
- 君は玉音放送を聞いたか(秋山久)
- 神田松之丞講談入門(神田松之丞)
- 小説は君のためにある (藤谷治)
- ことことこーこ (阿川佐和子)
- ゆっくり十まで (新井素子)
- インド倶楽部の謎 (有栖川有栖)
- 緑の花と赤い芝生 (伊藤朱里)
- 光の人 (今井彰)
- 大和維新 (植松三十里)
- 一緒にお墓に入ろう (江上剛)
- ドアを開けたら (大崎梢)
- 僕は金になる (桂望実)
- 思い出が消えないうちに (川口俊和)
- 到達不能極 (斉藤詠一)
- 銀河食堂の夜 (さだまさし)
- アンドロメダの猫 (朱川湊人)
- 噴煙姉妹 (名梁和泉)
- 大名絵師写楽 (野口卓)
- 影ぞ恋しき (はむろりん 葉室麟)
- ある男 (平野啓一郎)
- 愛なき世界 (三浦しをん)
- 星のなまえ (高橋順子)

おはなしの時間

日時／12月13日(木)、27日(木)

午後4時30分～5時

幼児向きの絵本の
読み聞かせ

場所／市民会館